

# コーディングマニュアル(特殊文字・特殊言語資料に関する抜粋集)

(平成 23 年 12 月 9 日版)

## 0. 適用範囲

日本語および英語等のラテン文字以外で書かれた資料のうち、別途規則の定められている文字・言語（中国語、韓国・朝鮮語、アラビア文字、タイ文字、デーヴァナガリ文字）を除いた文字・言語で書かれたものを特殊文字・特殊言語資料とする。

## 1. 目録用言語

### 1.1.1B 〔目録用言語〕

特殊文字・特殊言語資料においては、目録用言語として英語を用いる。ただし、必要に応じて、目録対象資料の本文の言語を目録用言語として使用できる。

## 2. 転記の原則

特殊文字・特殊言語資料においては、転記の原則に従い、原則として、記述対象資料に表示されているままの字体等を使用する。ただし、目録システムにおいて使用可能な文字(目録システム用文字セット)ではない場合は翻字で入力することができる。

ただし、書字方向が右から左の文字のうち、数字のみ書字方向が逆になる場合は、転記の原則の例外としてアラビア数字で記入する。なお、この場合、原綴を VT に記入する。

## 3. 図書書誌レコード

### 3.1 タイトルおよび責任表示 TR

(ヨミ)

特殊文字・特殊言語のうち、正書法で分かち書きをしない言語の書誌レコードにおいては、タイトルの原綴の分かち書きを、TRRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする

(その他のヨミ)

特殊文字・特殊言語資料においては、タイトルのALA-LC翻字形を、その他のヨミとしてTRVRフィールドに記録する。ALA-LC翻字形を記録できない場合は、ALA-LC翻字形以外の翻字形を記録することができる。ALA-LC翻字形以外の翻字形を記録した場合は、採用した翻字規則等について、NOTEフィールドに記録する。

### 3.2 その他のタイトル VT

(ヨミ)

特殊文字・特殊言語のうち、正書法で分かち書きをしない言語の書誌レコードにおいては、その他のタイトルの原綴の分かち書きを、VTRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする。

(その他のヨミ)

特殊文字・特殊言語資料においては、その他のタイトルのALA-LC翻字形を、その他のヨミとしてVTVRフィールドに記録する。ALA-LC翻字形を記録できない場合は、ALA-LC翻字形以外の翻字形を記録することができる。ALA-LC翻字形以外の翻字形を記録した場合は、採用した翻字規則等

について、NOTE フィールドに記録する。

#### (VT:RM)

VT:RMには、その他のヨミとして TRVR, VTVR, CWVR に記録しなかった翻字形を記録することができる。

### 3.3 内容注記 CW

#### (ヨミ)

特殊文字・特殊言語のうち、正書法で分かち書きをしない言語の書誌レコードにおいては、内容注記の原綴の分かち書きを、CWRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする。

#### (その他のヨミ)

特殊文字・特殊言語資料においては、内容注記の ALA-LC 翻字形を、その他のヨミとして CWVR フィールドに記録する。ALA-LC 翻字形を記録できない場合は、ALA-LC 翻字形以外の翻字形を記録することができる。ALA-LC 翻字形以外の翻字形を記録した場合は、採用した翻字規則等について、NOTE フィールドに記録する。

### 4. 著者名典拠レコード(個人名)

#### 4.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。特殊文字・特殊言語による表記は、参照形としてSFフィールドに記録する。ALA-LC翻字形を記録できない場合は、ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする。ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする場合は、採用した翻字規則等について、NOTEフィールドに記録する。翻字形が記録できない場合は、特殊文字・特殊言語による表記を標目形とする。

#### 4.2 を見よ参照 SF

特殊文字・特殊言語による参照形を記録する。

### 5. 著者名典拠レコード(団体名)

#### 5.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。特殊文字・特殊言語による表記は、参照形としてSFフィールドに記録する。ALA-LC翻字形を記録できない場合は、ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする。ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする場合は、採用した翻字規則等について、NOTEフィールドに記録する。翻字形が記録できない場合は、特殊文字・特殊言語による表記を標目形とする。

#### 5.2 を見よ参照 SF

特殊文字・特殊言語による参照形を記録する。

### 6. 統一書名典拠レコード

#### 6.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。特殊文字・特殊言語による表記は、参照形としてSFフィールドに記録する。ALA-LC翻字形を記録できない場合は、ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする。

ALA-LC翻字形以外の翻字形を標目形とする場合は、採用した翻字規則等について、NOTEフィールドに記録する。翻字形が記録できない場合は、特殊文字・特殊言語による表記を標目形とする。

## 6.2 を見よ参照 SF

特殊文字・特殊言語による参照形を記録する。

以上